

## 1 学校教育目標

・よく考え くふうする子 ・すなおで 思いやりのある子 ・たくましく やりぬく子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童と教職員が共に伸びる明るく活力のある学校</li> <li>・子供の瑞々しい感性を刺激する学校</li> <li>・児童が「ありがたい自分」を発見する学校</li> <li>・児童が「挑む喜び」を感じられる学校</li> <li>・家庭や地域から愛され信頼される学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よく考え、心豊かで、たくましい子供</li> <li>・目標をもち、まっすぐに努力する子</li> <li>・がんばっている自分と仲間を愛する子</li> <li>・進んで挨拶したり、友達のよさを認めたりできる子</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童一人一人を大切に、児童の心に響く指導をする教師</li> <li>・常に研鑽に努め、児童に学び方や学ぶ楽しさを教えて一人一人のよさを伸ばす教師</li> <li>・心身ともに健康で明るく、情熱と使命感をもって児童と共に学び、遊び、働く教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <学校の現状>

- ・地域は学校をいつも温かく見守り続けてくれている。多くの保護者は、学校教育について関心を持ち協力的である。さらに学校に関心を向けていただけるよう、教育活動の可視化と情報発信に努める必要がある。
- ・高学年全体が落ち着いて生活することができ、舎人第一小学校の手本となり、全校児童が落ち着いて学校生活を送ることができている。

### 【前年度の成果と課題】

- ・校内研究として「生活科・総合的な学習の時間」を前年度実施したことで、子ども主体の考える学習をこれまで以上に進めることができた。
- ・基礎・基本の定着と児童主体の問題解決学習をバランスよく発達段階に合わせて取り組んでいくことが課題である。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	健やかな身体の育成	○	○	○	○	○
4	幼保小中の連携	○	○	○	○	○

## 5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
子どもの自信につながる基礎・基本の定着		・4月の区学力調査目標通過率80%							
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年	毎日	授業のめあては、児童が設定	授業観察	毎日児童がめあてを設定	自己評価の際に記入		
2 新規	昼学習	全学年	週2回	キュビナを活用した学習	授業観察	週の使用率100%以上			
3	ICT活用	全学年	毎日	Google アプリケーションを活用した授業	授業観察	週の使用率100%以上			
4	学校図書館活用	全学年	週1回	各教科学習の中での活用	週案	週1回以上			
5									

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分のことを好きになり、相手のことも大切にできる子どもの育成		学校評価アンケート「学校は楽しい」と答える児童 90%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自分を好きになる	ノートの振り返りで自分に対して肯定的な見方ができる児童 80%	各教科のノートの振り返り	自己評価の際に記入		
他者との違いを認める	ノートの振り返り 学級会での折り合い	各教科のノート 学級会での振り返り			
交流活動	異学年交流のつぶやき	たけのこ班活動 運動会 とねいちランニング			

重点的な取組事項－3		健やかな身体の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分の身体や健康をセルフコントロールできる子どもの育成		子ども自ら「睡眠」の大切さを理解し、早寝早起きを意識できる	<b>自己評価の際に記入</b>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
早寝早起きを自分で意識できる	朝起きたときの爽快感が得られるように自分でタイムマネジメントできる	早寝早起きカレンダーを作成し、子どもたちが自分の睡眠を「見える化」する。	<b>自己評価の際に記入</b>		
体力づくり	とねいちランニングを目標に1年間の体力づくりを進んでできる	決まった時間内に走ることでできる距離(周数)を記録し、初めの記録より伸びる子が90%			
食育	自分で自分の食事をつくることのできる子80%	総合的な学習の時間を活用し、食に関する取り組みを取り入れ、受身の「食」から「自ら作る」主体的な食へと意識が変わる子80%			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）